

聖マリアヘルスケアセンターを過去に受診された皆様へ

聖マリアヘルスケアセンターでは、皆様の診療情報を利用し、下記の研究を実施しております。研究内容は、社会医療法人雪の聖母会 研究倫理審査委員会において許可されたものです。本研究の対象者に該当される可能性のある方で、ご自身の診療情報等を研究目的に利用することに對し拒否されたい場合、研究について詳細をお知りになりたい場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

①研究課題名	当院回復期リハ病棟の大腿骨近位部骨折の骨折型における 歩行器歩行自立から杖歩行自立日数と関連する要因
②実施予定期間	承認後～2025年12月31日
③対象者	2021年4月から2024年3月の間に大腿骨頸部骨折もしくは転子部骨折と診断され、聖マリアヘルスケアセンターで入院し回復期リハビリを行われた方。
④対象期間	2021年4月1日～2024年3月31日
⑤研究機関の名称	社会医療法人 雪の聖母会 聖マリアヘルスケアセンター
⑥対象診療科	Hリハビリテーション科
⑦研究責任者	柴崎 奨 (聖マリアヘルスケアセンター)
⑧使用する資料等	診療録より下記のデータを調査します。 年齢、性別、身長、体重、BMI、受傷機転(屋内移動中か屋外移動中)、家族構成(独居か否か)、骨折部位、骨折の分類(Garden・Jensen)、術式、チャールソン併存疾患指数(CCI)、入院時アルブミン(A1b)、改訂長谷川式簡易知能評価スケール(HDS-R)、手術から杖歩行自立までの日数、歩行器自立から杖歩行自立に至った日数、在院日数、回復期入院時FIM、回復期退院時FIM、受傷前歩行能力、回復期入院時握力、バランス機能評価(TUG、10m歩行、BBS)、退院時歩行能力とする。
⑨研究の概要	大腿骨頸部骨折に比べ転子部骨折の杖歩行に関しては、術側への荷重量が大きくなるため、杖歩行自立の日数が骨折部位によって異なるのではないかと考えています。本研究結果を踏まえた上で、骨折部位に沿った理学療法の提供・患者様との具体的な期間を定めた目標の共有ができ、リハビリテーションをより計画性をもって実行できると考えています。
⑩研究計画書等の閲覧	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で入手または閲覧出来ます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先までご連絡ください。
⑪結果の公表	学会や論文などで発表します。
⑫個人情報の保護	個人情報を保護するために責任者を設定します。研究をする際、個人が特定できる情報は、当院で特有の番号に置き換えて(このことを「匿名化」といいます)管理します。学会等での発表でも個人を特定できる情報は使用しません。
⑬知的財産権	社会医療法人 雪の聖母会 聖マリアヘルスケアセンター
⑭研究の資金源	なし
⑮利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません
⑯データの2次利用	本研究で得られたデータ等の2次利用により新たな研究を行う場合は、改めて研究計画書を作成し、再度研究倫理審査委員会の審査を受けます。
⑰問い合わせ先・相談窓口	聖マリアヘルスケアセンターリハビリテーション室 柴崎 奨 電話 0942-35-5522 (代表)